「沼のほとり」
NPO 法人手賀沼トラスト会報 第 74 号（発行日：平成 30 年 1 月 1 日）

# 年頭所感

理事長　遠藤　織太郎

皆さん、あけましておめでとうございます。

旧年は会員皆様はじめ関係各位の温かいご理解とご支援、ご協力により、手賀沼周辺環境保全活動は一層の広がりを見せ、充実した実績に結び付けることができました。まずは関係された皆さま方に心から感謝申し上げたいと存じます。

また、昨年は遊休農地（水田）80 アールで、ＧＭＴ65（遊農）チームがはじめて機械化による水稲栽培に挑戦し、全面に容土した初めての水田にもかかわらず、周辺農家並みの収量を上げ得たことは、特筆すべきことでありました。今後ますます拡大する遊休農地の取り組みに明るい見通しを開いたものと思っています。関係された皆さま本当にご苦労さまでした。

さて、当会は発足してから本年で 20 周年を迎えます。

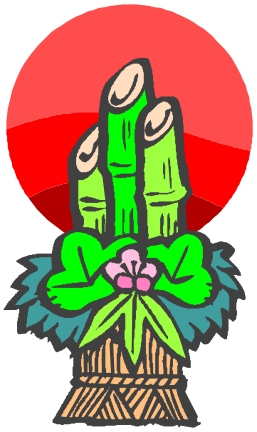
設立当初を思い出せば、その 1 年前（1998 年）に日暮朝納初代代表宅に 5 人の有志が集まり、本会設立の動機となる話し合いをしたところが出発点でありました。すなわち、当時急速な都市化で手賀沼は日本一汚染された沼となり、その周辺の里山や農地、水辺環境も往年の姿を失いかけ、かってこの地域が北の鎌倉と称されたその景観や田園が、このままでは消失してしまうという危機感の中で、地域の宝である手賀沼の浄化と手賀沼周辺の環境保全活動をする市民を中心とする団体を立ち上げることにしたのです。

設立総会は 1999 年 2 月に 60 人前後の参加者の中で開催され、名称はナショナルトラストの了解と協力を得て、「手賀沼トラスト」として自然と共生する豊かで住みよい地域づくりをモットーに掲げ、手賀沼周辺の里山、畑や水田、水辺環境、根戸城跡などランドスケープとしての環境保全と景観形成、里山文化の保全、育成等を構想した活動指針をつくり、本格的に活動をスタートさせたのです。

以来、設立 5 周年、10 周年、15 周年と節目の記念事業を実施し、活動を総括すると共に、記念誌の発行、トラスト活動の展示会、記念講演会、シンポジウム等も開催し、社会へのアピールを重ねてきたのであります。

この間 10 周年を前にして日暮朝納代表が急逝するという悲しいこともありました。

本会は日暮氏の遺志を引き継ぎ、より環境保全活動を深化させるため、2011 年（平成 23 年）7 月にＮＰＯ法人の認証を得て、自然と共生する地域づくりに努めてきました。会員も協力会員をふくめて 200 名の大世帯となっています。



今日、トラストの活動は自治体からも国からも評価され、緑の愛護賞や景観奨励賞など頂きましたし、新聞やテレビ等でも何度となく紹介されています。地元の、地元による、地元のための活動団体として市の公報にも紹介されました。

直近では、あいおいニッセイ同和損害保険（株）から、当会の活動に賛同され、当会の環境保全活動に活用してほしいとのことで、温かい寄付を頂いたところであります。

土や農の持続性を再生し、地域の緑や景観を未来の子供たちに残し、伝えていかねばなりません。手賀沼トラスト活動が多くの方々の協賛と協力を得て、ますます発展、充実していく 20 周年の節目の年になることを祈っています。

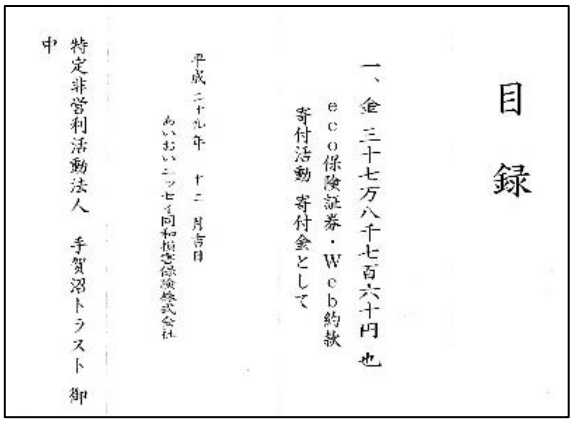
皆さん、本年も健康第一に楽しくトラスト活動をどうぞよろしくお願い申し上げます。

# あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様から多額の寄付をいただきました！

昨年の８月 16 日、暑さのまっ盛り。
「もしもし、日本 NPO センターです。おたくに寄付を考えている金融機関があります。今年の予算書を見たいと言っておりますので送ってください。」という電話。
ん？　今はやりの振り込め詐欺？　まさか・・・。予算書なら大丈夫だろうととりあえず送った。
２か月後、今度は「あいおいニッセイ同和損保」から「寄付先として選定したから振込先を教えよ」というメールが。やっぱり振り込め詐欺！　でも、よく考えてみると、「振り込め」ではなくて、「振り込みます」だよね。「振り込みますから手数料を」ということでもなさそうだから、とりあえずトラストの口座番号を送っておいた。いったいいくらもらえるんだろうね。
すると、忘れもしない 12 月４日、
「もしもし、あいおいニッセイ同和損保ですが、13 日に寄付金の贈呈式があります。ご参加いたたけますか。寄付金は 37 万 8760 円です。」と電話。
なに！　37 万！　おお、すごい！　田植え機が壊れかかっている。農機屋が中古の出物があると言っていたな。いやいや、積み立てておいて汎用コンバインを買おうか・・・。事務局長の心はちぢに乱れたのでした。

でも、とりあえず二つ返事で「はい、もちろんお伺いします！」
というわけで、行ってきました。ここ何年も着たことがないジャケットを羽織り、千葉駅に。
事前に調べておいたのに駅に着いたら西も東も分からない。えい、ここは奮発してと、これも何年も乗ったことがないタクシーで会場のビルに。
立派な執行委員さんと部長さん、そしてきれいなお姉さんから目録をいただきました。そして記念撮影。パシャ！

さて、ここからは真面目に書きます。


目録

一、金 三十七万八千七百六十円也
eco保険証券・Web約款
寄付活動 寄付金として

平成二十九年 十二 月吉日
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

特定非営利活動法人 手賀沼トラスト 御中

あいおいニッセイ同和損保の寄付は、正式には、「eco 保険証券・Web 約款の選択件数に応じた寄付」で、「地域・社会貢献取組みの一環としてペーパーレス化につながる eco 保険証券・Web 約款を導入し、契約者に選択いただいた件数に応じて森林保全など環境保護活動を行う団体等への寄付」という趣旨です。
日本ユネスコ協会連盟をはじめ地域の環境保護団体（全国で 100 以上）が寄付を受けていますが、光栄にも、今年は手賀沼トラストがそのひとつに選ばれたというわけです。我々の 20 年におよぶ里山保全活動を評価してくださったと思うとうれしい限りです。あいおいニッセイ同和損保さま、本当にありがとうございます。
トラストの経営はいっけん順調で毎年度の運営自体には問題がありません。しかし、農家から借りている農機具が老朽化しており、トラストは自力で農機の更新に備えなければなりません。農機は中古でもかなり高額です。新品なら１千万以上するものもあります。
このような時に、あいおいニッセイ同和損保からの寄付は本当にありがたいものです。
しかし、寄付対象団体は随時見直しを行っているとのことです。毎年選定していただけるよう、改めて身を引き締めて里山保全活動に邁進しなければなりません。
今年も頑張りましょう！

平成29年度

# 遊農チーム　12月　宮前田んぼ作業

遊休農地対応グループ

12月14日（木）　8名参加
9時に現地集合、雲一つ無い晴天ですが、外気温4℃で風も吹く寒い朝、寒さにも負けない8名が参加。
4枚の田んぼを3台のトラクターが休み無く走り回り、ロータリー耕耘。
併せて台風21号によりビニールハウスが破損したため、その修復作業。
昼食抜きで作業を続行して、午後2時前に終了。

平成29年度

# 菜の花栽培状況-12月

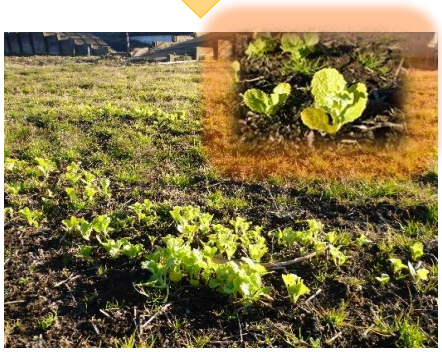
遊休農地対応グループ

10月の天気が悪くて、播種が計画より大幅に遅れた船戸圃場と宮前沼圃場。
計画より4日早く播種し、その後の台風21号と22号の影響で追加播種した三角田んぼ。
今年と昨年の、菜の花の成育状況の差は以下のとおりです。

船戸圃場　12月27日

宮前圃場　12月27日

三角田んぼ　12月27日



2016年12月29日

2016年12月29日

2016年12月29日

新シリーズ「魅惑のレシピ」を始めます。（実は記事がないときの埋め草です）
「こんなに美味しいのに他家では作っていない！」
「安くて、早くて、うまい我が家の秘伝の味」
「トラストの野菜で作る美味しい料理」
など、お宅のとっておきレシピをお寄せください。
皆様の投稿をお待ちしています！

## 魅惑のレシピ　その1

### 中華ちまき（トラストのもち米を使って・・・）

**材料**
もち米：３カップ
豚肉：１５０ｇ
ニンジン：１本
干しエビ：１０ｇ
干し椎茸：３枚
タケノコ：１００ｇ
長ネギ：２本
サラダオイル：少々
スープ：３００cc（中華味）
醤油：大匙２
塩：小さじ１
酒：大匙２
砂糖：大匙１
ごま油：少々

**作り方**
・もち米は洗って３０分ほどざるにあげておく。

Ａ
・豚肉は細かく切る。
・ニンジン、もどした干し椎茸、タケノコは１㎝くらいの角切りにする。
・長ネギは縦に切り込みを入れてから小口切りにする。

・Ａと干しエビをサラダオイルで炒める。
・スープ、醤油、塩、酒、砂糖を加える。
・洗っておいた米を加え、水分がなくなるまで中火で炒める。
・最後に鍋はだからごま油をまわしかけて混ぜる。
・冷めたらアルミホイールで半月状に包む。
・蒸し器で３０分ほど蒸して出来上がり。

＊会員の坂巻道代さんのお友達から教わりました。
トラストのもち米でたいへんおいしくできました。
・炒め終わった具材は半なま状態です。蒸し上げなければ食べられません。
・アルミホイールで包むときは、広げたホイールの上半分に具材を乗せ、ホイールを折りあげて端を内側に折り込んで半月型に仕上げます。
・３カップで６個くらい作れました。
　１個で１人前、けっこうなボリュームです。
・大き目のフライパンで作るといいです。
◇**そのまま冷凍しておき、食べるときに冷凍状態のまま３０分蒸せば食べられます。**
坂巻さんのお友達は「冷凍しておくと、急なお客様のときに便利よ」とおっしゃっていましたが、我が家には客は来ないので、「急な食事」（あ、何も食べるものがない！）の時に食べちゃいます。

富沢

発行責任者　遠藤織太郎（TEL：04-7182-0387）　編集責任者　富沢　崇（TEL：090-2234-5610）
事務所：我孫子市白山 2-13-5　編集責任者住所：我孫子市根戸新田 135-3
e-mail：info@teganuma-trust.jp　ホームページ：http://teganuma-trust.jp/